

**スペクトラム・オブ・ザ・シーズが2020年の特別クルーズにて東京港で夜間停泊
東京港国際クルーズターミナルは世界最先端の客船の寄港に合わせて開業**



マイアミ、2019年6月10日—[ロイヤル・カリビアン・インターナショナル](#)新造船 [スペクトラム・オブ・ザ・シーズ](#)が2020年夏に東京で夜間停泊を実施し、再びアジアのクルーズ市場に旋風を巻き起こします。お客様に素晴らしい休暇をお届けするために建造された、クァンタムウルトラクラス第1隻目の同船は、ロイヤル・カリビアン初のスイート客室専用エリア、革新的なコンセプトのダイニング、驚きの施設とアクティビティをご用意しており、その多くが洋上初です。

2020年夏、[スペクトラム・オブ・ザ・シーズ](#)と[ボイジャー・オブ・ザ・シーズ](#)両船は新しくオープンする東京国際クルーズターミナルに寄港する特別クルーズを実施し、活気に満ちた東京で一生に一度の特別な体験をご提供します。[スペクトラム](#)は7月25日と8月2日にそれぞれ東京に向けて上海を出航し、[ボイジャー](#)のクルーズは7月26日の香港出航と8月2日の東京出航から始まり、それぞれの東京寄港は夜間停泊となります。それに加え、[クァンタム・オブ・ザ・シーズ](#)は2019年にシンガポール発着クルーズを開始する予定で、[スペクトラム](#)の上海就航も合わせ、アジアにおけるロイヤル・カリビアンの「ダブルクァンタムイヤー」の開始を告げます。

ロイヤル・カリビアン中国社長のベルト・ヘルナンデスは、「我々の客船は、お客様に忘れられない休暇をご提供するためにデザイン・建造されました。そして、来年の夏の東京で一生に一度の体験をご提供する役割を担うことができ誇りに思います。」と述べています。

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルについて

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは数々の賞に輝く国際クルーズブランドで、50年間に渡り革新を重ね、洋上では見られなかった業界初の試みをつねに導入し続けています。船上ではブロードウェイスタイルのエンターテイメントや斬新な施設を備え、ご家族連れをはじめ冒険心旺盛なお客様にもお楽しみいただける多種多様なプログラムをご提供します。当社は世界で最も革新的なクルーズ船26隻を運航しており、バミューダ、カリブ海、ヨーロッパ、カナダ、米国、アラスカ、ニューイングランド、南アメリカ、アジア、オーストラリア、ニュージーランドといった全世界の人気のデスティネーションへお客様をご案内いたします。また「ゴールド・アンカー・サービス」というサービス基準を設け、全スタッフが最高のおもてなしでお出迎えいたします。ロイヤル・カリビアン・インターナショナルはTravel Weekly Readers Choice Awardsで16年連続「Best Cruise Line Overall（クルーズ・ライン総合第1位）」に選ばれています。